

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は高校まで広大な十勝地方で過ごし、その反動から東京での生活に憧れ、結局は栃木県の大学へと進みました。宇都宮市は東京とは程遠い街でしたが、住めば都、餃子や地酒、訛りなど地域特有の文化や歴史は道産子の自分には十分新鮮でした。就職を機に札幌に移り現在に至りますが、栃木県の日光やさらに山奥の奥鬼怒温泉郷などは特に魅力的で、何度も再訪したくなる場所です。

それから十数年間、建設コンサルタントとして主に河川構造物関連の業務に従事しています。技術士としては早5年が経過しましたが、自然の外力に対する過剰と過小の判断は一筋縄ではいかず、めまぐるしい社会情勢の変化も相まって、四苦八苦しながらも先輩方や同僚の皆で力を合わせ、最善策を模索し続ける毎日です。

技術士会では、防災研究会水工部会に所属しておりますが、貧乏暇なしですっかり幽霊会員化しております。しかしながら東日本大震災や先の竜巻被害などを目の当たりにし、地震や異常気象に起因する災害リスクに対する啓蒙や教育訓練の重要性を再認識し、自分も一人の技術士として社会貢献すべく積極的な行動と自己研鑽の必要性を痛感しているこの頃です。

最近、旧友や趣味の音楽を通じた異業種交流の機会に恵まれ、ベンチャー企業経営者のモチベーションの高さや社会貢献への行動力に大きな刺激を受けています。私もこの原稿掲載を機に、社外活動への積極参加を宣言しますので、ご縁がありましたらご指導の程、何卒宜しくお願い致します。

河合 敦 (かわい あつし)

●建設部門
(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

株式会社 開発工営社
水工事業本部 水工第2部



→ 次号は、高橋慶行さん(建設部門)

私は、専門学校を卒業後、札幌市内の建設会社にて約8年間、おもに河川の工場の現場に従事していました。その後、道東の企業に就職し、財団法人に7年間出向していました。出向中は、現場技術業務に従事し、改修、災害復旧、環境整備、旧川復元など、様々な工事に関わることができ、大変勉強になりました。この時期に何人かの技術士の方にお会いする機会がありましたが「自分には無理だろうな」と受験など全く考えていませんでした。そんな中、同じ事務所で仕事をしていた方が一次試験に合格したことをきっかけに平成16年に一次試験を受験し合格しました。そこで大きな勘違い(もしかして二次試験も合格できる?)。……そんなに甘くなく、この年は見事不合格。その後、出向期間も終了し、元の会社のグループである建設会社に異動となりました。会社には、技術士の方がいないためインターネットの受験支援ボランティアの講師の方にお世話になり、平成19年、三度目の受験(施工計画)で何とか合格することができ、平成20年に河川砂防に合格しました。合格後、様々な分野の技術士の方と知り合うことができ、刺激を頂いています。平成21年10月から現在の職場にお世話になっており、現在は、おもに水防に関する業務に従事しています。これまで経験の無い業務のため、職場の諸先輩などにアドバイスを頂き何とかこなしている状況です。早く一人前になれるよう精進します。

本間 成人 (ほんま なりひと)

●建設部門
(河川砂防、施工計画)

勤務先

一般財団法人 北海道河川財団
調査第3部



→ 次号は、川尻洋志さん(建設部門)